



2025年度入学式が開催されました。

桜満開の4月9日、国土理事長をはじめとした厚生労働省、国立健康危機管理研究機構（JIHS）、ナショナルセンター関係者のご臨席のもと、JIHSに移行して初の国立看護大学校入学式が開催されました。

式辞で萱間大学校長は、「臨床現場では、多くの卒業生が活躍しています。現場の素敵な先輩方をモデルに歩み、これからの医療を共に担ってください。皆さんの力が必要とされています。」と述べました。

国土理事長からは、「大学校生活を通じて、様々な人々の気持ちができる医療職になってください。」との言葉をいただきました。

また、入学生代表からは、「これからの学生生活、知識・技術・そして豊かな人間性を育み、仲間と共に学びを深めて参りたい。」との宣誓が述べられました。今回の入学により、看護学部第25期生112名、研究課程部前期課程第21期生・後期課程第11期生合わせて12名の計124名が、看護大学校で新たに学び始めます。



萱間真美 大学校長
式辞



厚生労働省健康・生活衛生局感染症
対策部長 鷲見 学
(ご代読 厚生労働省感染症対策部感染症
対策課長 荒木 裕人)
ご祝辞



国立健康危機管理研究機構
国土典宏 理事長
ご祝辞

式典の様子



入学生代表宣誓



看護学部生



研究課程部生

新入生へのお祝いも
いただきました。
ありがとうございます。

